⚠ご注意ください！
不審なセールス電話や訪問販売

工場や事務所など、お客さまに「保安協会」や「保安協会の代理店」など「北陸電気保安協会」と類似した名称を名乗る、不審なセールスや訪問販売が多発しております。

当協会では電話による勧誘や提案は
一切しておりませんので、ご注意ください。

不審な電話の一例

「保安協会ですが、電気料金が安くなるので３カ月分の検針票を見せてほしい。」
「〇〇保安協会の〇〇ですが、現在契約している動力の基本料金を教えてください。」
「〇〇〇〇協会です。電気料金を安くする為に負荷測定させてほしい。」
など

不審と思われる場合、当協会までお問い合わせし、ご確認ください。

キーワードクイズ Key Word Quiz

自社の受電設備で起きた
事故が原因で、付近一帯が
停電する事故のことを、
〇〇事故という。

（〇〇 をお答えください）

正解者の中から抽選で **10名さま** に粗品（図書カード）を進呈いたします。
当選者の発表は図書カードの発送をもってかえさせていただきます。

応募方法 下記の２つのうちからご応募ください。

1. 協会HPから応募
（スマートフォンからも応募できます）

北陸 電気保安 検索

2. ハガキでの応募
※郵便切手は発送者ご自身でご負担ください。

〒930-0004
富山市桜橋通り3-1
（電気ビル内）

北陸電気保安協会
広報部　まで

①氏名
②住所
③電話番号
④クイズの答え
⑤本誌への
ご意見・ご感想

応募締切 2019年12月31日（火）必着

※応募は、ウェブ・ハガキにかかわらず、おひとり様１回限りです。
※ご記入いただいたお客さまの情報は、当選者への粗品送付及びご意見などへの回答目的にのみ使用し、他の目的には一切使用しません。

盛夏号（No.281）の正解は㊥㊥㊥㊥でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

でんきほあん
2019 錦秋号　No.282

発行所　一般財団法人 北陸電気保安協会

富山支店　〒930-0996　富山市新庄本町二丁目９番98号
TEL 076-452-0515

石川支店　〒924-0014　白山市五歩市町400番
TEL 076-274-4580

福井支店　〒910-0003　福井市松本１丁目１番22号
TEL 0776-24-5626

当協会の許可なくして複製・転載することはご遠慮ください。

2019年（令和元年）10月1日発行
年４回発行［4月・7月・10月・1月］

でんきほあん

特集 平成30年度自家用電気工作物の立入検査結果について
高圧受電設備の電気事故対策 波及事故

お客さま訪問／株式会社ジャクエツ（福井県）
子どもたちのあそび環境をデザインするトータルソリューション企業。

北陸発いきいき情報／穴水町（石川県）
里山里海の味覚に恵まれた穏やかな海辺のまち

デマンド監視サービス導入事例／鯖江市嚮陽会館（福井県）
電力使用状況の見える化で、職員の業務負担も軽減

令和元年度電気保安功労者表彰

ご注意ください！不審なセールス電話や訪問販売

2019 錦秋号 No.282

一般財団法人 北陸電気保安協会

でんきほあん

2019 錦秋号 No.282

CONTENTS

03 平成30年度自家用電気工作物の立入検査結果について
中部近畿産業保安監督部北陸産業保安監督署

06 高圧受電設備の電気事故対策 波及事故

08 デマンド監視サービス導入事例／鯖江市響陽会館（福井県）
電力使用状況の見える化で、職員の業務負担も軽減

10 お客さま訪問No.282／株式会社ジャクエツ（福井県）
子どもたちのあそび環境をデザインするトータルソリューション企業。

12 プロの仕事現場～検査員の体験から～／小松営業所 髙木 星矢
老朽化した水銀灯の安定器から発煙

13 令和元年度電気保安功労者表彰

14 北陸発いきいき情報／穴水町（石川県）
里山里海の味覚に恵まれた穏やかな海辺のまち

16 ご注意ください！不審なセールス電話や訪問販売

本号の表紙

富山県高岡市

金屋町

高岡市金屋町は加賀藩主前田利長が高岡開町に伴い、砺波郡西部金屋から７人の鋳物師を招いて鋳物づくりを行わせたことにより、鋳物産業が根付き高岡鋳物発祥の地となっている。
2012年に国の重要伝統的建造物群保存地区に指定され、千本格子（せんぼんごうし）の家並みと銅片を埋め込んだ石畳が美しいたたずまいを醸し出している。
前田利長公の命日に当たる6月20日には、御印を賜った感謝を捧げるお祭りとして「御印祭（ごいんさい）」が執り行われている。

お知らせ **電気取り扱いのDVDをお貸ししています。** 無料

当協会では、「電気の安全について」安全教育や研修等で使用できるDVDの貸し出しを行っています。
作業者・従業員向けにわかりやすく電気安全の知識が解説されています。是非ご活用ください。

<一部ご紹介>

タイトル	分数	対象者	主な内容
追跡！日常作業の電気事故	30分	工場・事業所などの電気担当者・現場作業者向け	測定や点検など日常の作業に潜む危険を、実際の事故事例をもとにリアルな映像で再現し、原因の追跡と防止対策を解説します。
見てナットク！低圧電気の基礎知識	29分	工場・事業所・建設現場などの作業者・従業員向け	低圧電気取扱特別教育の学科別に、講義だけでは伝えにくい内容を、CGやリアルな現場の映像でわかりやすく解説します。
ここがポイント！日常巡視～電気事故を未然に防止～	27分	工場・事業所などの電気担当者・従業員向け	異音や異臭などの異常の兆しの見つけ方や各設備の保守など、日常巡視のチェックポイントをわかりやすく解説します。
潜入！低圧電気の事故現場	23分	工場・事業所などの作業者・従業員向け	電動工具の取扱いや配線工事作業など低圧電気を取扱う中で起きた死亡事故事例を、迫力ある映像で再現解説します。

※上記以外にも、省エネに関するDVDなどもあります。

お客さまの工場や事業所へ伺って開催する『**電気安全に関する出前講習会**』も無料で行っています。
お問い合わせ・ご相談は最寄りの当協会支店・営業所まで！

平成30年度

自家用電気工作物の立入検査結果について

中部近畿産業保安監督部北陸産業保安監督署

❶ 概要

立入検査の目的は、電気事業法に定められている自家用電気工作物の自主保安体制が、それぞれの事業場において確立され、保守管理が十分に行われているかどうかを検査し、「感電死傷事故」、「電気火災事故」、「電気事業者の供給設備への波及事故」などの電気事故の防止及び当監督署として自家用電気工作物の保守保安状況を総括的に把握することによって、今後の保安行政に反映させるため実施しています。

❷ 対象事業場の選定

平成29年度末における管内の自家用電気工作物設置事業場約2.6万件の中から、次に該当する26事業場を重点に選定し、実施しました。

（1）平成29年度に電気事故があった施設
（2）保安の確保が適切でないおそれのある施設（不適切事項等の報告のあった施設）
（3）電気保安の実態把握が必要な施設（外部委託事業場や申請届出漏れ等のあった施設）

立入検査事業場の規模別及び保安形態別状況は表１のとおりです。

❸ 検査の内容

検査で実施した内容は、以下のとおりです。

（1）電気事業法関係法令に基づく届出・報告等の関係書類が所定の期間保存されているか。
（2）法令に適合した電気主任技術者が選任されているか。
（3）保安規程に定められた、電気主任技術者の職務・保安教育・日常巡視点検・定期点検などの保安業務が遵守されているか。
（4）電気工作物が技術基準などに適合した施設となっているか。

❹ 検査結果

検査の結果を集計したものは、表２～６のとおりです。

なお、表２～６の指摘事項等については、全て改善した旨の報告を受けております。

（1）法令に基づく手続の状況について

主任技術者の執務状況については、表２のとおり、主任技術者等の変更が必要なものはありませんでした。

保安規程の手続状況については、表３のとおり、変更届出が必要なものが３件ありました。要変更事項は、保安管理業

表１　平成30年度自家用電気工作物立入検査件数（規模別及び保安形態別）

規模／選任形態	低圧	高圧					特別高圧			合計
		100kW未満	100kW以上500kW未満	500kW以上1000kW未満	1000kW以上	小計	5000kW未満	5000kW以上	小計	
専任主任技術者	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
兼任主任技術者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
許可主任技術者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
統括主任技術者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外部委託	0	11	9	3	0	23	0	0	0	23
その他	0	1	1	0	0	2	0	0	0	2
合計	0	12	10	3	0	25	0	1	1	26

務を外部委託している事業場で保安に関する組織図の変更が行われていないものでした。

表２　主任技術者の執務状況

執務状況			件数 平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指摘事項	執務不十分		0	0	0	0
		改修要求に応じない	0	0	0	0
		改修指摘、点検なし	0	0	0	0
	ビルメン常駐なし		0	0	0	0
	主任技術者等の変更を要する		0	1	2	2
		執務不良	0	0	0	0
		執務体制の不備	0	1	1	2
		その他	0	0	1	0
合計			0	1	2	2

表３　保安規程手続状況

要変更事項	件数 平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
事業場名変更	0	0	0	0
組織変更	3	0	4	4
構内区域変更	0	0	2	5
点検基準変更	0	0	0	0
その他	0	0	1	0
合計	3	0	7	9

（２）保安規程の遵守状況について

表４のとおり、保安規程に定められた事項について、その実施が十分に行われていないものが16件ありました。

平成30年度の主な要改善事項は、点検が実施されていないもので、具体例としては、保安管理業務を外部委託している事業場で、絶縁監視装置の点検が実施されていないものでした。

表４　保安規程の遵守状況

	要改善事項	件数 平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
保安教育	保安教育・訓練が適切かつ計画的に実施されていない	0	3	4	0
巡視点検	点検頻度が遵守されていない	1	2	3	6
	点検が実施されていない	4	3	4	2
	巡視・点検の記録が適切になされていない	1	2	4	3
	その他	0	1	1	0
書類管理	関係書類・図面の整備、修正がなされていない	3	8	10	10
その他	運転・操作基準が適切に定められていない	3	2	5	6
	連絡体制が整備されていない	4	2	4	1
	代務者が定められていない	0	0	0	1
	合計	16	23	35	29

（３）電気工作物の不良事項状況について

表５、表６のとおり、維持管理状況について適切でないものが19件ありました。

平成30年度の主な不良事項は次のとおりでした。

（受配電設備）

①接地抵抗の値が過大（Ａ種・Ｂ種）　５件

②接地工事施工方法が不適切　２件

接地工事施工方法が不適切な事例として、Ａ種接地工事で接地線の地表上２ｍまでの部分が合成樹脂管等で覆われていないものがありました。

（負荷設備）

①低圧屋内配線器具の施設方法が不適切（充電部露出、器具の固定等）　５件

②電路の絶縁抵抗値が基準を満たしていない　２件

低圧屋内配線器具の施設方法が不適切な事例として、ブレーカーの充電部が露出しているものが多く見受けられました。

その他、電気工作物の注意事項として、キュービクルの通気孔、ケーブル貫通部等から小動物侵入の可能性のあるものが３件ありました。

表５　電気工作物の不良事項（受配電設備）

不良事項	条項	件数 平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
接地抵抗の値が過大	17	5	0	1	2
接地工事施工方法が不適切	17	2	2	3	3
Ｂ種接地工事が不適切	24	0	2	1	0
受電用遮断器の遮断容量が不足	34	0	0	0	0
過電流遮断器の性能等が不適切	34	0	0	3	0
地絡遮断装置の性能等が不適切	36	0	0	1	0
高圧受配電設備等の出入口に立入禁止等の表示がない	38	0	0	0	0
高圧受配電設備等の出入口に施錠装置がない	38	1	0	0	1
電柱の足場金具等が地表上1.8ｍ未満に設置されている	53	1	0	2	1
高圧架空電線路支持物の支線の施設方法が不適切	61	1	1	2	2
架空ケーブルの施設方法が不適切	67	0	0	0	2
低圧架空電線路の地上高さが不足している	68	0	0	0	0
高圧（低圧）架空電線路等相互の離隔距離が不足している	74、75、76	0	1	0	0
高圧（低圧）架空電線と建造物等の離隔距離が不足している	55、71、77、78、79	0	0	0	0
高圧（低圧）架空電線が植物に接触している	79	0	0	1	0
小計		10	6	14	11

表６　電気工作物の不良事項（負荷設備）

不良事項	条項	件数 平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
電線の接続方法が不適切	12	0	1	1	0
電路の絶縁抵抗値が基準を満たしていない	14	2	0	1	2
機械器具の鉄台及び外箱の接地未施工	29	0	1	1	2
過電流遮断器の施設方法が不適切	33	0	0	0	0
地絡遮断装置未設置	36	1	0	0	1
低圧架空引込線の地上高さが不足している	116	0	0	0	0
地上に敷設する電線路が不適切	128	0	0	0	1
低圧屋内配線にビニールコードを使用	146	1	1	0	0
低圧分岐回路の施設方法が不適切	149	0	1	0	0
低圧屋内配線器具の施設方法が不適切（充電部露出、器具の固定等）	150	5	5	7	12
低圧屋外機械器具の施設方法が不適切	151	0	0	0	0
ケーブル工事が不適切	164	0	0	2	0
屋外配線の施設方法が不適切	166	0	0	0	0
アーク溶接装置の施設でＤ種接地工事が施されていない	190	0	0	0	0
小計		9	9	12	18
合計		19	15	26	29
立入検査実施件数		26	29	33	39
１事業所あたり不良件数		0.73	0.52	0.79	0.74

❺ むすび

平成30年度に実施した立入検査の結果について、電気工作物（受配電設備、負荷設備）が技術基準に適合していない事項及び保安規程を遵守していない事項が多数見受けられました。

これらの原因について、設置者の法令遵守に対する意識及び電気保安に関する理解が十分でないこと、電気主任技術者（電気保安法人、電気管理技術者等を含む。）の電気事業法、同法関係法令及び保安規程に関する認識が十分でないこと、及び設置者が設備改修等を計画的に行うよう電気主任技術者からの指示、助言が十分でないことが考えられます。

電気主任技術者においては、これらの不良事項を参考として、同様な事象が発生しないよう、電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安の監督の職務を誠実に行っていただくようお願いします。また、日頃から設置者との意志疎通を図り、停電点検や設備改修等を計画的に進めていただくようお願いします。

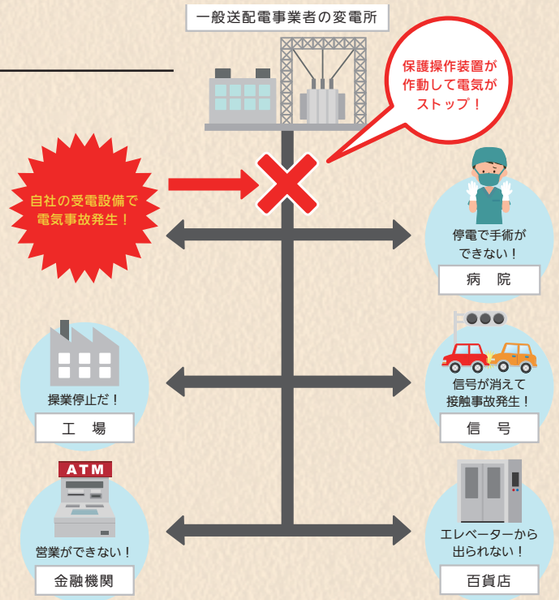
設置者においては、経済・社会の高度化、多様化の進展に伴う、電気設備の信頼性及び安全性を確保することの重要性を十分認識し、感電死傷事故、電気火災事故、波及事故等を起こさないよう社会的責任を強く認識して不良事項については早急に改修し、電気主任技術者の意見を尊重して電気保安の確保に万全を期されるようお願いします。

高圧受電設備の電気事故対策

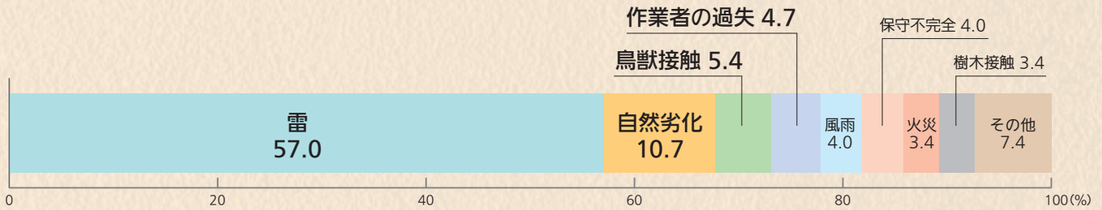
波　及　事　故

1 波及事故とは

高圧受電設備などで起きた事故が原因で、一般送配電事業者の配電線に接続されている住宅、ビル、工場、病院、銀行、交通機関、交通信号システムなど、さまざまな範囲に停電が広がる事故を言い、毎年全国で400件から500件発生しています。波及事故が発生すると、機器の損壊など自社の損失だけでなく、他社工場の操業停止、信号機の消灯、病院の医療機器類が停止するなど、社会的に大きな影響を及ぼします。場合によっては、多大な損害賠償を請求されるケースもあります。波及事故は設置者（波及事故発生者）の責任が問われ、さまざまな被害が伴う重大な事故です。



2 波及事故の主な発生原因（単位：%）



中部近畿産業保安監督部北陸産業保安監督署「平成30年度管内の電気事故について」より

3 波及事故防止対策

雷　害

雷害により、機器が損傷し波及事故となることがあります。特に屋外に設置されている区分開閉器は雷害を受ける確率が高いため、確実な保護が必要です。

対策　**避雷器を設置する**

機器類の損傷を防止するための最も有効な対策として避雷器があります。区分開閉器は、避雷器内蔵タイプを採用するか、または避雷器を区分開閉器本体の負荷側近傍に取り付け、確実に保護しましょう。避雷器を有効に機能させるために、定期点検の際は接地抵抗値を確認しましょう。

自然劣化

高圧受電設備は、長期間使用すると経年劣化により機能や性能が損なわれ、事故や不具合が起こり、波及事故につながることがあります。

対策1　**保安規程で定めた周期・回数に基づいて適切な保守点検確実に行なう**

日常巡視や月次点検に加え、停電をともなう年次点検が必要です。

対策2　**適切な時期に各機器を更新する**

機器の使用状況、設置場所の環境による劣化の度合いや保守・点検の状況を考慮し、電気主任技術者の助言等をもとに更新時期を決定してください。

高圧気中負荷開閉器	15年
高圧CVケーブル	20年
高圧真空遮断器	20年
高圧交流負荷開閉器	20年
変圧器	25年
高圧進相コンデンサ	20年
その他高圧機器	25年

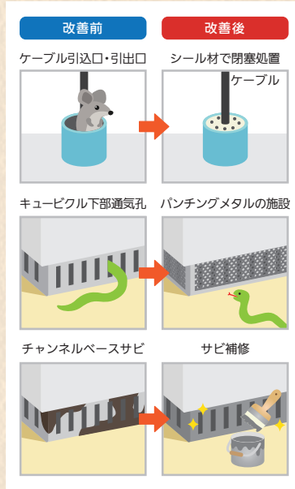
北陸電気保安協会が推奨する更新時期

鳥獣接触

ケーブル引込口、引出口、通気孔、外箱の腐食破損箇所などから小動物が侵入し、充電部に触れて短絡や地絡事故が発生することがあります。

対策1　**穴やすき間をふさぐ**

小動物の侵入するおそれのある穴（通気孔・水抜き穴等）やすき間は、シール材でふさいだり、パンチングメタルを設置しましょう。



対策2　**充電部分を保護する**

断路器・限流ヒューズ付き高圧交流負荷開閉器・変圧器・コンデンサなどの充電部に、絶縁バリア（相間バリア）や防護カバーを取り付け、小動物の接触による事故を防ぎましょう。

作業者の過失

掘削作業中に誤って地中ケーブルを損傷すると、波及事故だけでなく、掘削作業者自身が感電する恐れもあり、危険です。また、ビルや建物の改築工事などで、上下水道管やエアコンの配管を埋設する際に誤ってケーブルを損傷してしまい、波及事故となることもあります。

対策　**ケーブルのある場所に標柱などを設置**

電気設備の周辺で掘削工事を行う場合は、事前に必ず電気主任技術者と十分な打合せを行うことが重要です。また、ケーブルの埋設されている場所には標柱や標石を設置し、ケーブル埋設上部にはケーブル標識シートを敷設しましょう。ケーブル標識シートは、掘削の深さ等を考慮し、必要に応じて埋設しましょう。

4 波及事故を防止するためには

高圧受電設備で事故が発生しても、配電線への波及事故に至らないように、区分開閉器にはGR付き高圧交流負荷開閉器（地絡継電装置付き高圧交流負荷開閉器）を取り付けることが有効です。

一般社団法人日本電気協会「2019年度版 電気安全パンフレット 自家用向け」より

デマンド監視サービス導入事例

鯖江市 響陽（きょうよう）会館（福井県鯖江市）

電力使用状況の見える化で、職員の業務負担も軽減

鯖江市響陽会館は、鯖江市のシンボルである西山公園に隣接する市民会館です。その名は西山公園の古名である「響陽渓」に由来し、昭和59年の開館以降、各種会議、パーティ、結婚披露宴、講演会、式典、各種催事などに幅広く利用されています。会館の稼働率を高め、「いかに活用いただけるか」「来場いただいた方に快適に過ごしていただけるか」を考えたとき、不可欠なのが会館の空調管理です。デマンド監視装置の導入が、空調管理業務にどのような効果をもたらしたのか、館長の中西清治さんにお話を伺いました。

館長 中西清治さん

ロスを抑えながら、施設利用者に快適な空間を提供したい

鯖江市響陽会館は、大型の多目的ホールからギャラリー、大中小の会議室、サロンまで様々な広さのスペースを貸し出し、市内外の皆さまにご利用いただいています。施設利用者に快適にご利用いただくためには会場内を適温に保つ必要があり、いかに効率よく空調を運転するかは、当館のかねてからの課題でした。そのため、まず導入したのが空調のPC制御装置です。広い館内の必要な箇所の空調を事務所内のパソコンで一元管理できるという利点がありましたが、どのタイミングで空調をオンオフすれば良いかまではこの制御装置だけでは判断できず、かえって電気使用量が増える結果に。平成28年の夏に最大デマンドが過去最大の180kwという数値を出したことから、北陸電気保安協会さんに相談したところ、デマンド監視サービスをご紹介いただきました。デマンド監視装置を導入することで、最大電力を抑えることが出来ると聞き、平成29年9月より目標値151kw、限界値161kwで運用を開始しました。

生かしきれていなかった空調制御装置を有効活用

デマンド監視装置はモニターで電力の稼働状況をグラフで表示し、目標値を超えると警報音が鳴って画面が黄色に変化。限界値を超えた場合は警報と赤い画面で注意を促します。PC空調制御装置と併用することで、各スペースの温度と施設全体の電力使用量が一目瞭然となり、的確なタイミングで空調のオンオフが可能に。空調制御装置の有効活用にもつながりました。

導入して１年は警報が頻繁に鳴っていましたが、今では警報がなる前にモニターのグラフをチェックし、ピークに達する前に手動で空調を一旦オフにするなど、事前の対策ができるようになったのも大きなメリットです。多目的ホールやギャラリーは空間が広いため、空調を入れるタイミングが遅れると会場の適切な温度管理に時間がかかるということが過去には多々ありましたが、今は改善され、空調管理の手間と使用電力の軽減により、施設利用者お客様への快適なサービス提供につなげています。

省エネ意識の高まりも醸成

電力の使用状況が見える化されることで、職員間に省エネ意識が芽生えたのも、導入の効果です。リアルタイムでの稼働状況だけでなく、過去の履歴も見ることができるので、どの時期、どの時間帯で使用量が多いかを把握し、それに応じて無駄を抑えた運用ができるようになりました。今年２月には館内の照明の約８割をLEDに切り替えも行うなど、職員が一体となって省エネ、およびランニングコスト削減への取り組みを進めています。

公共施設として、利用者の方々に快適な空間とサービスを提供していくことが私たちの努めです。そのためにも、北陸電気保安協会さんには今後とも適切なアドバイスとサポートをお願いしたいと思っています。

空調制御装置とデマンド監視装置の運用風景

電気設備

電灯用変圧器…150kVA
動力用変圧器…150kVA

	対策前（2016年度）	対策後（2018年度）
最大デマンド	180kW	146kW
年間使用電力量	190MWh	179MWh

鯖江市響陽会館（福井県鯖江市）

鯖江市響陽会館では、文化活動の活性化を図るため、ロビー横のギャラリースペースを通常料金の1/10程度で貸し出ししています。1スパン800円（平日限定）、各種作品展や発表会などにご活用いただけます。
お気軽にお問い合わせください。

◀ギャラリー
各種作品展、展示会、物品販売会、ホール使用時の控えの場としてもご利用いただけます。

▲多目的ホール（縦 約18.7m　横 約34m）
会議、宴会、結婚披露宴、式典、講演会、ピアノ発表会、展示会、各種催事など幅広い用途でご利用いただけます。

大会議室▶
100名程度収容可能な会議室。講演会、セミナー、企業内研修、勉強会などに最適です。

〒916-0027 福井県鯖江市桜町2-7-1
［TEL］0778-52-5789
［URL］http://www1.ttn.ne.jp/~s-kyoyo/

お客さま訪問

No.282

子どもたちのあそび環境をデザインする トータルソリューション企業。

株式会社ジャクエツ

こども環境デザインのパイオニアとして、保育用品や教材教具、屋外遊具から園舎設計までトータルで手がける株式会社ジャクエツ。保育園や幼稚園を中心に、近年では公共施設や美術館、空港などのキッズコーナーにも事業領域を拡大。「未来は、あそびの中に。」をスローガンに掲げ、付加価値の高い提案を行っています。

色紙から屋外遊具まで、遊びや学びをサポート

株式会社ジャクエツの創業は 1916 年。創業者の徳本達雄氏が幼稚園を開園し、子どもたちのための教材や教具を自分たちの手で企画製造したのが始まりでした。越前和紙を使った色紙やクレヨンなどの描画用品が口コミで評判となり、徐々に事業規模を拡大。現在ではブロックや三輪車などの教材教具をはじめ、園制服や体操服など幼稚園・保育園で必要なあらゆるアイテムを販売。

また、幼児期の遊びに欠かせない屋外遊具の製造も行っています。近年では、無印良品のプロダクトデザインで知られる深澤直人氏とのコラボレーション遊具でも話題に。子どもたちの感性を刺激する付加価値の高い遊具を創造しています。

子どもたちが遊び育つ園舎づくりもプロデュース

教材や教具といったものづくりだけでなく、園舎の設計、改修・改築、園庭整備など子どもたちが遊び育つ空間の提案も行っています。その先駆けとなったのが、園内トイレの提案です。水を流して洗うのが一般的だったトイレの床をドライ式にすることで排水の匂いをなくし、子どもが行きたくなるきれいなトイレを実現。この“トイレ革命”は、全国へと普及しました。

以降、園舎設計を本格化。現在では年間 50 棟もの幼稚園設計を手がけ、子どもが健やかに育つ環境づくりをプロデュースしています。

全国ネットワークを展開、直営店でコンサル営業を

全国にネットワークを持っているのも同社の強みです。現在、敦賀市と東京の 2 ヶ所に本社を置き、営業所は全国に 68 ヶ所。これらはすべて直営店で、300 人を超える営業マンがコンサルティングも含めた提案を行っています。また、敦賀市内では同社の系列である早翠幼稚園とさみどり保育園にて自社製品を使用した子ども教育を実践。こども環境デザインのモデルスタイルとして、全国から多くの教育関係者が見学に訪れています。

2015 年に創業 100 周年を迎えた同社は、今年 10 月に敦賀工場を一新。時代の変化に柔軟に対応し、最新の教育理論やテクノロジーを取り入れながら、現代の生活スタイルにあったこども環境をトータルデザインしていきます。

❶ 本社工場で行っている自由画帳の裁断の様子。
❷ 自社設計園舎。森をイメージした遊び心のある図書コーナー。
❸ オノマトペで遊べる屋上庭園。<富山県美術館>
❹ 落ち着いたデザインのドライ式トイレブース。
❺ 家族みんなで楽しめるオリジナル遊具。<川崎競馬場>
❻ 恐竜をモチーフにした遊具。<長尾山総合公園>
❼ 空港の搭乗待合室内にあるこども広場。<中部国際空港セントレア>

お客さまからひとこと

教材や教具を製造する工場において、電気設備は不可欠です。工場が円滑に稼動できているのも、北陸電気保安協会さんのサポートがあればこそ。10月からは製造とラボを兼ね備えた新工場が稼動予定ですが、引き続き電気関連のサポートをお願いいたします。

株式会社ジャクエツ

〒914-0125
福井県敦賀市若葉町 2-1770
TEL : 0770-25-1111
FAX : 0770-25-1110
https://www.jakuets.co.jp/

JAKUETS

プロの仕事現場
～検査員の体験から～

小松営業所
髙木　星矢

「老朽化した水銀灯の安定器から発煙」

とても暑い夏のある日、就業時間が終わり、当日は故障当番であったため、準備を整えていました。天候は悪くないから故障で呼ばれることはないだろうと高を括っていた矢先、携帯電話の呼び出し音が鳴りました。当協会の故障受付センターから「絶縁監視装置の警報が出ていますので出動してください。」と伝えられ、場所を聞くと偶然にも私が担当しているお客さまでした。担当してから２年ほど経ちますが今まで警報が出たことは無かったのに、何があったのかと、頭の中で色々と考えながら現場へと向かいました。

現場に着くと、従業員の方々が慌ただしくしている様が目に付き、いつもと雰囲気が違う、これは何かあったなと直感しました。工場の中に入ると、工場の中は黄ばんだ煙と焼け焦げた臭いが充満していました。工場長に現在の状況を問診したところ、私が到着する数分前に工場内に煙が充満し始めた為、すぐに分電盤にて電源を落としたとのことでした。電源を落とした分電盤で絶縁抵抗測定を実施したところ、水銀灯の回路で絶縁不良となっている１回路を発見しました。恐らく水銀灯の安定器が故障したのだろうと思いましたが、安定器は天井付近の壁面に取り付けされており、約５ｍの高さで高所作業車がないと確認できない状況でした。工場長から、「すぐに対処してもらえそうな電気工事業者を紹介してくれないか。」と依頼され、すでに 20 時近くになっていましたが知り合いの電気工事業者に連絡をしてみると偶然にも近くにいるとのことで、すぐに高所作業車で来てもらえることになりました。

高所作業車が到着しすぐに安定器の調査を開始しました。不良と思われる安定器に近づくにつれ、焼け焦げた臭いがきつくなり安定器の真横まで移動し目視したところ、底が開いて（写真のとおり）、そこから焼けた臭いが漏れているのがわかりました。「間違いない。これが原因だ！」と確信しました。焼けた安定器は 1971 年製のもので製造してから 48 年近く経っていたため、劣化により内部で異常過熱が発生し焼け焦げて絶縁不良となり絶縁監視装置の警報が発生したものと考えられます。工場にはまだ数台、同じ機種の安定器が設置されており、また同じような現象が起こるかもしれないと工場長に説明したところ、リスク回避の為にもすぐに LED 照明に改修するとの決断をしていただけました。

今回は「絶縁監視装置で異常を検知し警報を出したこと」、「異常に気付いた工場長が電源を落としていただいたこと」で、早急な対処ができ大事に至りませんでしたが、安定器の劣化により、発煙や出火による火災につながるおそれがあり大変危険です。

長年にわたり使用している水銀灯の安定器は外観が視認できるほどの劣化がなくても、内部で劣化が進行している場合があります。異音や振動が発生しているようであればすぐに交換をお勧めします。

今回、急なお願いに対しすぐに対処してくれた電気工事業者さんに大変感謝いたします。

発煙があった水銀灯安定器

水銀灯安定器の底が開いている

令和元年度 電気保安功労者表彰

8月26日（月）富山電気ビルにおいて、令和元年度電気保安功労者表彰式が行われました。
永年にわたり電気保安に顕著な功績をあげた電気保安功労優良工場に対して、表彰が授与されます。
当協会のお客さまが栄えある中部近畿産業保安監督部長表彰（1社）、
電気安全北陸委員会委員長表彰（1社）を受賞されました。

※「電気保安功労者表彰」は、経済産業省の「電気使用安全月間」の取り組みの一つとして、電気保安に関し、保守運営体制・管理体制の優良であり、保安教育の推進や安全思想の普及などに永年にわたり努力してきたと認められる企業等及び個人を表彰するものです。

◀令和元年度電気保安功労者表彰受賞者
（中部近畿産業保安監督部長表彰）

中部近畿産業保安監督部長表彰　- 工場等の部（自家用電気工作物設置者）-

テイカ製薬株式会社 さま

住　　所　富山県富山市荒川一丁目3番27号
事業内容　医薬品の製造販売

電気安全北陸委員会委員長表彰　- 工場等の部（自家用電気工作物設置者）-

株式会社ニットク さま

住　　所　福井県勝山市片瀬10-1
事業内容　産業資材用織物
（スクリーン印刷用、各種フィルター用、
土木・建築用 等）の製造及び販売

北陸発
いきいき
情報

HOKURIKU LOCAL GOVERNMENT INFORMATION

石川県
穴水町

面　積：183.21km²
人　口：8,171人
（令和元年8月31日）

穴水町は、奥能登の玄関口に位置し、古くから交通の要衝として発展してきました。町の地形は「七浦七入」と呼ばれる波穏やかな入江と奥能登丘陵からなり、四季折々の豊かな自然と旬の味覚に恵まれています。

観光資源も豊富で、特に「雪中ジャンボかきまつり」や、「ボラ待ちやぐら」「能登ワイン」「能登長寿大仏」など、注目を集めるイベントやスポットが数多くあります。

そのほかにも、のと里山海道（越の原インターチェンジ）からの町道整備や、「あなみず未来づくり支援事業」、「穴水ニュータウン無償分譲」など、それぞれのニーズに応じたきめ細かなサポートを通じて、「誰もが誇れるふるさと穴水」の実現に向けてチャレンジを続けています。

穴水町長
石川 宣雄 さん

里山里海の味覚に恵まれた穏やかな海辺のまち

旬の味覚を味わう四季折々の「まいもん」

穴水町では、春の「イサザ（シロウオ）」、夏の「サザエ」、秋の「牛」、冬の「カキ」と、一年を通して季節の食材をテーマとした「まいもん（美味いもの）まつり」を開催しています。各期間には、町内の飲食店で、それぞれの季節のフルコースメニューが楽しめるほか、野外の特別イベントが開催されます。

特に2月の「雪中ジャンボかきまつり」は、穴水港「あすなろ広場」に総延長400mのジャンボ炭火コーナーを設営。カキの炭火焼きを目当てに、全国から大勢の観光客が訪れる人気のイベントです。

能登のブドウで醸した能登のワイン

ワイン専用種を使った本格生ワインを醸造している能登ワイン。ヨーロッパを思わせる広大なブドウ畑で、能登の気候風土に適した、2万本を超えるブドウが育てられています。「能登のブドウで、世界にも評価される、質の高いワインを」という思いから、地元産100％のブドウを用い、加熱処理を一切行わない生詰め製法によるワインは、数々のワインコンクールで受賞を重ねており、県内外から高い評価を受けています。2019年には、全国への安定供給に向けて醸造タンクと貯蔵施設の増設に着手、年度内の完成を目指しています。

❶「能登ワイン」では少人数でも工場見学が可能。数種類のワインの試飲ができます。
❷のと鉄道能登鹿島駅（通称：能登さくら駅）は能登らしい「ぬくもり」と「懐かしさ」を感じることができます。
❸「能登長寿大仏」周辺は公園になっており、三重塔や親鸞聖人、観音様、弘法大師等の11の仏像が安置されています。
❹仏閣の間を縫うようにして続く情緒ある石畳の「さとり道」。
❺この夏、潮騒の道の対岸に、能登長寿大仏につながる約2kmの遊歩道も完成、磯釣りの場としても人気です。

豊かな自然を味わう観光スポット

七尾駅から穴水駅まで海沿いを走る「のと鉄道」は、里山里海の風景を堪能できるローカル線です。別名「能登さくら駅」と呼ばれる「能登鹿島駅」では、プラットホームに並ぶ約100本の桜が見事な桜のトンネルを作ります。1999年には、「中部の駅百選」に選ばれており、花見シーズンには多くの人が訪れる人気スポットになっています。

また、普通列車より時間をかけてゆっくりと運行し、たっぷり沿線風景を楽しめるのが、観光列車「のと里山里海号」。能登自慢の「まいもん」をセットした食事付きプランも人気です。かつて盛んだった漁法を今に伝える「ボラ待ちやぐら」近くでは、一時停止して、アテンダントによる説明もあります。

終着駅「穴水駅」には、道の駅「あなみず」が併設。穴水町中居出身の力士「遠藤関」の応援グッズコーナーのほか、珠洲焼、能登の塩、干物や青のりなど、能登全域のお土産も購入できます。

健康長寿のまちづくりを目指す穴水町では、遊歩道の整備も進められています。穴水港・七尾北湾の海岸を満喫できる「潮騒の道」、多くの寺社がある中居地区の8つの寺院・神社を結んだ「さとりの道」に加え、この夏、潮騒の道の対岸に、能登長寿大仏につながる約2kmの遊歩道も完成しました。湖のように波穏やかな入江の風景をはじめとする里山里海を満喫しながら、ウオーキングを楽しむことができます。

EVENT
自治体イベント情報

穴水まいもんまつり「かきまつり」
2020年1月10日（金）～3月31日（火）
プリッとした食感に濃厚な味わいが人気のカキのフルコースを、町内の加盟店で提供します。

雪中ジャンボかきまつり
2020年2月8日（土）・9日（日）
美しい里海で育った新鮮なカキを、「あすなろ広場」に設営したジャンボ炭火コーナーで楽しめます。海の幸をそろえた「まいもん市」、ステージショーなど盛りだくさんのイベントです。